

賀 茂 地 区

- 1 研修会回数 年間5回実施（他に各支部別5～6回実施）
- 2 研修テーマ 感じようこころと体 めざそう健やかな生活

研 修 内 容		主 催 者	備 考（講師・運営）
4 月	地区研修重点目標の決定	賀茂教育研究会	※ ¹ 富士宮市教育委員会 指導主事 莊司奈緒 氏
6 月	「子供たちの安全安心を目指した学校保健活動～つなげる～」		
11月	代表者会報告執務上の問題点について 講習会※ ¹	賀茂地区学校保健会	
3 月	「子供たちに寄り添った支援のために」 代表者会報告、支部研修報告、活動反省	賀茂教育研究会	

3 研修の様子

今年度より、研修目標を地区全体で統一した。支部ごとの研修は継続するため、様々な視点から目標達成の手立てを考えていきたい。講習会では莊司指導主事を講師として迎え、児童生徒の支援方法として校内外の連携について研修を行う予定である。

田 方 地 区

- 1 研修会回数 年間6回実施
- 2 研修テーマ 子どもの心と体を見つめ、成長を支える連携

研 修 内 容	主 催 者	備 考（講師・運営）
5月 年間計画立案 6月 学校保健会総会・講演会* ¹ 「学校における内科的症状に対するアセスメントと対応」	田方地区教育研究会	* ¹ 茨城大学教育学部 教授 古池雄治 氏
7月 保健主事・養護教諭合同研修会* ² 「救急救命法講習会」	田方地区学校保健会	* ² 駿東伊豆消防本部 普通救命講習普及員
7・11・1月 全体研修 グループ研修 3月 研修まとめ 活動反省		

3 研修の様子

昨年度に引き続き、「連携」をテーマに、児童生徒の健康問題に向き合い、保健教育の推進や資質向上を目指し研修を進めている。全体会では、地区の様子などの情報交換を行い、グループ研修では、3市町それぞれ研修を進め、年度末に成果を発表し、実践を共有する予定である。

東 豆 地 区

- 1 研修会回数 年間3回実施（他に市ごと月1回程度実施）
- 2 研修テーマ 熱海 しなやかで へこたれない 心の力を育てよう
伊東 困難な状況の中でも立ち直る力を持ち、しなやかに適応する子の育成を目指して

研 修 内 容	主 催 者	備 考（講師・運営）
6・3月 代表者会報告 熱海・伊東研修報告 熱海・伊東地区別研修 11月 代表者会報告・講習会	東豆学校保健研究会	

3 研修の様子

6・3月は、それぞれの研修の計画や実施報告をし、共通テーマである心の力を育てることについて、情報交換や協議を行っている。11月は養護教諭の資質や能力の向上を目指す取組として、合同研修を行っている。

三 島 地 区

- 1 研修会回数 年間9回実施
- 2 研修テーマ 性に関する指導

研 修 内 容	主 催 者	備 考（講師・運営）
4月 研修計画、研修内容の検討 6・7・9・11月 全体研修 グループ研修 7月 啓発紙「生きる」検討 10月 講演会 ^{*1} 「子ども達を取り巻く環境～保健室からできるサポート～」 2月 今年度の成果と次年度に向けての課題	三島市教育委員会 三島市教育研究会	^{*1} 三島市こども未来課 こども家庭センター統括支援員 山中直大 氏

3 研修の様子

令和6年度より3年計画で、市内共通で小学校から系統的に行うことができる性に関する指導の資料や教材の作成を進めている。今年度は、学年ごとの発達段階に応じた指導内容の一覧表の作成を目標に、グループ研修を行っている。

駿 東 地 区

- 1 研修会回数 年間6回実施
- 2 研修テーマ 4つの支部に分かれて、それぞれの研修も進めている。

研 修 内 容	主 催 者	備 考（講師・運営）
3月 第1回学校保健研修会 6月 学校保健代議員会・講演会 ^{*1} 「熱中症とオーバードーズ」 8月 第2回学校保健研修会 ^{*2} （保健主事・養護教諭合同研修会） 「子どものリスクマネジメント教育」 10月 第3回学校保健研修会 ^{*3} 11月 地区学校保健研究大会 ^{*4} 2月 第4回学校保健研修会	地区教育協会 地区学校保健会	^{*1} 学校薬剤師（せりざわ薬局） 芹澤一男 氏 ^{*2} 静岡福祉大学 子ども学部子ども学科 講師 木戸直美 氏 ^{*3} 名古屋学芸大学 大学院子どもケア研究科 ヒューマンケア学部子どもケア学科 教授 近森けいこ 氏 ^{*4} 講師未定

3 研修の様子

4つの支部がそれぞれテーマを設定し研修を行っている。地区全体の研修では、現代的な課題に対応するために講演会の開催や班別研修を行い、情報共有しながら互いに学び合い、養護教諭の資質向上を目指している。

沼 津 地 区

- 1 研修会回数 年間13回実施
- 2 研修テーマ 生涯を通じて健康な生活を送るための学校保健
～子供たちのウェルビーイングを高める養護教諭の取り組み～

研 修 内 容	主 催 者	備 考（講師・運営）
4・7・12・3月 全体研修 6月 校区研修 7・8・11月 テーマ別グループ研修 7月 夏季講演会 ^{*1} 「学校におけるレジリエンス教育の具体策」 6・9・11月 二部合同研修会	沼津教育振興会 沼津市学校保健会	^{*1} 日本レジリエンスエデュケーション協会 代表理事 山本千香子 氏

3 研修の様子

今年度より、新たなテーマで2年計画の研修を進めている。市内養護教諭が5つのグループに別れ、1つのテーマに向かって研修を深めている。二部合同研修会は学校保健部として、学校給食部・校医部・保健主事部と連携を取りながら行っている。

富士地区

1 研修会回数 年間8回実施

2 研修テーマ 生涯にわたり 心豊かで健やかに生きる子

～子供の健康課題をみとり、児童生徒が自分ごととして実践できるためのアプローチの工夫～

研 修 内 容	主 催 者	備 考（講師・運営）
5月 全体研修（組織・計画） 7月 講演会・班別研修 ^{*1} 8月 幼保小中研修 班別・校区別研修 11月 一斉授業研究会 12月 班別研修 1月 講演会 ^{*2} 3月 全体研修（反省・次年度指針）	富士市教育研究推進会 富士市学校保健会	^{*1} 静岡大学 副学長 鎌塚優子 氏 ^{*2} 市内歯科医（未定）

3 研修の様子

令和5年度より、静岡県教員育成指標のキャリアステージごとの養護教諭の資質向上を目指し、若手・中堅・ベテランを組み合わせた班編成で課題別に研修を行っている。今年度は、子供の健康課題をみとり、児童生徒が自分ごととして実践できるよう、取り組んでいく。

富士宮地区

1 研修会回数 年間11回実施

2 研修テーマ しなやかでたくましい心と体を育む健康教育

研 修 内 容	主 催 者	備 考（講師・運営）
4・12・1月 学校医等及び養護教諭合同研修会 6月 学校保健会総会・講演会 ^{*1} 「市販薬の乱用について」 6・11月 市内全体研修会 7・8・10・12・1月 健康教育研修会	富士宮市教育委員会 富士宮市学校保健会	^{*1} 富士宮市薬剤師会 前会長 富士宮薬局センター長 渡邊博文 氏

3 研修の様子

子供たちが自他の命を大切に、人とかわりながら考え、判断し、主体的に健康づくりに取り組むことができる姿を目指している。課題別の班研修を通して、令和4年度からの研修を継続・発展させるとともに、組織的な健康教育の推進を目指し研修を深めている。

静岡地区

1 研修会回数 市全体会・年間3回実施（他に支部ごと8～9回実施）

2 研修テーマ 生きる力と豊かな心を育む健康教育をめざして

研 修 内 容	主 催 者	備 考（講師・運営）
8月 第1回市養護教諭研修会 「健康課題解決のための保健室経営計画」 「健康相談活動の理論と実践」 ^{*1} 10月 第2回市養護教諭研修会 「救急処置について」 ^{*2} 「包括的性教育について」 ^{*3} 3月 第3回市養護教諭研修会 講義と支部研修報告	静岡市教育委員会 静岡市養護教諭研究会	^{*1} 静岡大学 副学長 鎌塚優子 氏 ^{*2} 国際救急法研究所 理事長 宇田川規夫 氏 ^{*3} 順天堂大学保健看護学部 教授 西岡笑子 氏

3 研修の様子

各支部や個人等で研修に取り組み、各学校において実践を積み重ねている。学校保健を担う養護教諭として、学校経営にどのように参画していくかを念頭においた上で、健康教育や保健管理及び組織活動の推進について研修を深めていきたい。

志 太 地 区

- 1 研修会回数 年間3回実施
- 2 研修テーマ 心身ともに健康で、活力に満ちた児童生徒の育成
～子どもの「こころとからだ」の健やかな成長を目指して～

研 修 内 容	主 催 者	備 考（講師・運営）
7月 第1回養護教諭研究会研修会 第1回学校保健会研修会 ^{*1}	志太地区養護教諭研究会	^{*1} 静岡てんかん・神経医療センター 小児科医長 山口解冬 氏
8月 「こどものてんかん」 12月 志太教育研究集会（学校保健部） 第2回養護教諭研究会研修会 第2回学校保健会研修会 ^{*2} 「児童養護施設 18歳の巣立ち」	志太地区学校保健会 志太地区教育協議会	
		^{*2} 一般社団法人たすけあい 代表理事 田中麗華 氏

3 研修の様子

研修の機会は限られているが、現代的健康課題や児童生徒の実態から養護教諭が求める内容の講演会を開催し、資質向上に努めている。また、志太地区で使用している情報管理システムの保健関係についてマニュアルを作成し、執務の効率化を進めている。

榛 原 地 区

- 1 研修会回数 年間4回実施
- 2 研修テーマ しなやかに、人とかかわりながら前向きに生きていこうとする子をめざして
～小小連携・小中連携～

研 修 内 容	主 催 者	備 考（講師・運営）
6・11・2月 全体研修会 10月 学校保健部研修会 ^{*1} 「子どものコミュニケーション能力育成をサポートする教師の関わり方」	榛原地区養護教諭研究会 榛原地区教育協会学校保健部	^{*1} 公認心理師 スクールカウンセラー 谷澤久美子 氏

3 研修の様子

今年度より中学校区の実態に応じ、小小または小中で連携し、レジリエンスを育てる取組を始めた。仲間に学び、仲間と学ぶことで主体的な実践を進め、養護教諭のレベルアップを目指していきたい。

小 笠 地 区

- 1 研修会回数 年間3回実施
- 2 研修テーマ (1) 健康教育推進者としての力量を高め、専門性、独自性を活かした資質の向上
(2) 小笠地区養護教諭研究会の組織の活性化

研 修 内 容	主 催 者	備 考（講師・運営）
6月 第1回全体研修会 研修計画・顧問校長講話 ^{*1} 第2回全体研修会 ^{*2}	小笠地区養護教諭研究会	^{*1} 小笠地区養護教諭研究会 顧問校長 石山 近 氏 ^{*2} あかりクリニック 医師 美崎昌子 氏 釧路市立阿寒湖義務教育学校 養護教諭 望月昇平 氏 中部大学生命健康科学部作業療法学科 准教授 津田聡子 氏
8月 「育成と連携」 ～養護教諭の資質向上を指す～	小笠教育研究協会	
11月 学校保健研究部一斉研究報告会 「自分の身体と主体的に向き合う子どもの育成」 ～切れ目のない健康教育を進めるための効果的な連携の在り方～	学校保健研究部	

3 研修の様子

「育成と連携」を努力点とし、「個と組織の育成」「個と組織の連携」を目指して研修を進めている。限られた研修の中で会員相互に連携し情報共有しながら、養護教諭としての資質向上に努めていきたい。

磐 周 地 区

- 1 研修会回数 年間3回実施（他に市町ごとの研修会4～5回実施）
- 2 研修テーマ 生涯を通して、自ら生きる力を育てる健康教育
～心身ともに健康な生活を送るためのヘルスリテラシーの育成～

研 修 内 容	主 催 者	備 考（講師・運営）
6月 第1回養護教諭研修会 「事業計画・各校区の研修計画発表」 10月 第2回養護教諭研修会 「児童生徒理解に関する研修」 3月 第3回養護教諭研修会 「実技研修」	磐周学校保健会	

3 研修の様子

中学校区の健康課題を解決するために、PCDAサイクルによる実践の中にヘルスリテラシーの視点を加え、その成果を経年的にみることができるよう研修を進めている。他の中学校区の研修の様子を知る機会を増やし、情報共有や協議を通してより研修を深めていくよう考えている。

湖 西 地 区

- 1 研修会回数 年間11回実施
- 2 研修テーマ これからの学校保健の在り方

研 修 内 容	主 催 者	備 考（講師・運営）
5・7・8・10・11・2月 養護教諭研修会 6月 湖西市学校保健会総会 7月 保健主事・養護教諭合同研修会 「模擬授業から学ぶ性教育」 ^{*1} 1月 学校保健研修会	湖西市教育会 湖西市学校保健会 湖西市教育委員会	^{*1} 性教育トレーナー 佐々木睦美 氏

3 研修の様子

困難な状況でも適切に対処し、生涯を生き抜くことができる子供の育成を目指し、援助希求やストレス対処に関する集団指導、個に合わせた個別指導について重点的に取り組んでいる。

また、市内で作成したマニュアルの見直しを毎年行い、執務の効率化を図り、多様化している学校保健の課題に対応していきたい。

浜 松 地 区

- 1 研修会回数 年間12回実施
- 2 研修テーマ (1) すこやかな心と体 命を大切にできる子の育成
(2) 養護教諭の資質向上を目指して

研 修 内 容	主 催 者	備 考（講師・運営）
4月 教育研究協議会 5・8・10月 養護教諭ブロック別研修会 5・8・11月 保健主事養護教諭合同研修会 6・10・2月 養護教諭研修会 ^{*1*} ^{*2*} ^{*3} 5月 中体連・養護教諭合同研修会 7月 養護教諭部研修会（分科会）	浜松市教育研究会 浜松市教育センター 浜松市中学校体育連盟 浜松市学校保健会	^{*1} 静岡大学 副学長 鎌塚優子 氏 ^{*2} 健康安全課指導主事 ^{*3} 作業療法学博士 野藤弘幸 氏

3 研修の様子

専門性を持つ教育者としての資質・能力を高めるために、多方面から職務を見直し、若手育成を念頭に置きながら研修を進めている。各ブロックの研究推進委員会を中心に、職務の標準化に向けての研修を行い、全体に共有できるよう取り組んでいる。